

要求実現の力をもつ
労働組合をめざし
全国で組織建設と
拡大をすすめよう!



発行所
JMITU
(日本金属製造情報通信労働組合)
〒114-0023 東京都北区滝野川
3-3-1 ユニオンコーポ 3階
電話 (03) 5961-5601~2
FAX (03) 5961-5603
※組織外、無断転載禁止

17年末一時金回答156支部分会

組合員平均 **620,161 円** (2・20ヵ月) 支部平均 **573,073 円** (2・01ヵ月)

アドバンテスト(埼玉) 継続雇用者一律 125,000 円

三和エレクトロニクス(神奈川) 継続雇用者に扶養手当

JMITUの17年末一時金闘争は先週末の11月24日以降あらたに13支部分会で回答が引き出されました。12月1日現在156支部分会の組合員平均は62万161円(2・20ヵ月)、支部分会の平均は57万3073円(2・01ヵ月)。昨年同時期を組合員平均で1万2000円、支部分会平均ではわずかですが200円上回っています。11月9日の初回回答(90支部分会)以降、引き出し数を増やしながらかつ上積み回答引き出しへねばり、組合員平均・支部分会平均ともに2万円引き上げています。

「継続雇用者も同月数支給を」の要求でアドバンテスト支部(埼玉・東京北部)では、今秋闘でも当初ゼロ回答でしたが、「不誠実な回答では引き下がるわけにはいかない」と交渉をねばり、再雇用者全員(60人)に12万5000円の一律支給かちとりました。また川崎支部三和エレクトロニクス分会は、一時金では従来から再雇用者(10人)も同月数支給をかちとっていますが、今回3年前の住宅手当新設に続き、長年の要求であった扶養手当要求で、正社員と同等支給(妻16,000、第一子7,000、第二子以降5,000)をかちとりました。これで月々の賃金以外での継続雇用・パートタイマーの均等待遇が実現しました。

大勢は妥結方向ですが、文化シヤッター労連が回答上積みを求め残業拒否を継続するなど、ねばり強かたかっています。

<年末一時金回答額(上位)> ()は月数

川本製作所(愛知)	②1,142,400	(3・79)
レオン自動機(栃木)	①1,030,835	(3・20)
カシフジ(京滋)	②900,000+α	(3・38)
アドバンテスト(埼玉)春	965,100	(3・00)
日本アスコ(兵庫)	① 941,143	(2・70)
北陽電機(大阪)	① 940,000	(3・50)
バルダン(愛知)	① 926,103	(3・00)
リオン(東京西部)	① 882,000	(2・84)
ユニオン光学(東京北)	① 875,000	(2・50)
自動車精工(埼玉)	① 859,000	(3・01)
関西エンジニア(兵庫)	② 870,000	(2・24)
NTTデータ	① 852,000	(3・41)
村松フルーツ(埼玉)	① 849,573	(2・72)
東洋精機(東京北部)	② 810,000	(2・50)
日本IBM(東京ほか)	① 809,353	(1・85)
小坂研究所(東京東部)	② 800,000	(2・91)
日立建機ティエラ(大阪)春	800,000	(3・00)
明治機械(岡山)	春 769,684	(2・15)
リガク(東京西部)	② 760,000	(2・26)
河合連合(静岡)	① 755,376	(2・40)
光洋ST/関連	春 750,000	(2・15)
NTT東日本	① 747,000	
NTT西日本	① 724,500	(2・70)
NTTファシリーズ本体	① 724,500	(2・70)
ボッシュ・レックスロス	① 723,090	(2・00)

秋闘55支部で前進 継続雇用者要求・休日増でも新たな回答

17秋闘は12月1日現在、要求支部分会139のうち55支部分会支部分会で何らかの前進回答を引き出しています。継続雇用者の要求では上記アドバンテスト、三和エレクトロニクスでの一時金支給、扶養手当同等支給のほか、「退職月を誕生日月から3月末と9月末に延長」(東京・アイ・エス・ビー)など、ねばり強かたかわれており、18春闘にも継続されます。

長野地本では新たに「休日1日増・130日、出産時特別休暇(夫)の休日1日増・3日」(信濃合金)、「更衣室で入口の増設改善、水道設備の修理」(コシナ)など、要求13支部のうち7支部で前進回答を引き出しています。

「大幅賃上げを取りに行く」 18春闘討論集会

9条改憲阻止 3000万人署名で国会発議とめよう



JMITUが18春闘へ全国討論集会・組織建設会議 (11月26日・東京都内)

JMITUは11月25～26日、東京都内で18春闘討論集会・組織建設全国会議をおこない、約140人が参加しました。

あいさつで三木中央執行委員長は、18春闘をめぐる情勢について『人手不足』の状況は大幅賃上げのチャンス」とした上で、「あきらめずに、しっかりねりあげた要求をつくる」こと、「納得できない回答には抗議の意思を示す」こと、とりわけ「統一ストに決起し全員でたたかう」ことなど、17春闘の教訓を踏まえ強調しました。また、労働組合の存在感が輝く春闘のなかでこそ組織拡大の前進をはかり要求前進にもつなげていくこと、安倍内閣がねらう憲法9条改憲の国会発議阻止へ、3000万人署名を思い切ってひろげようとよびかけました。

18春闘方針案(「18春闘パンフ」)を提案した笠瀬書記長は、「マンションを買ったが75歳までローンがある」「賃金が大幅に下げられている60

歳以降の生活が不安」など、職場には生活・将来不安がうずまいており、「本気で賃上げを取りに行く18春闘にする」こと、「春闘を組織拡大強化につなげていく」こと、「アベ働き方改悪」の阻止と「アベ9条改憲阻止」のたたかいに本気で立ち向かうことの重要性を強調しました。

討論では2日間で28人が発言。「家計簿調査で自らの生活実態を出し合うことで要求に真剣さが出る」(神奈川、東京東部)、「意識的に拡大にとりくみ、2013年の青年の加入を契機に、この間6人が加入してくれた」(長野)、『学習の友』での学習が執行部や青年部の交渉力を高め、要求前進につながっている」(大阪)、「1日1筆の目標を決め69筆。はじめて署名するという人も職場で17人。大きな変化」(東京南部)など、家計簿調査による要求づくりの重要性や団結の拡大めざすととりくみが豊かに報告されました。

「JMITU」(メールニュース版)は、闘争時の「情報」、組織建設の経験・教訓なども含め適時発行していきます。各支部・分会などひろく発信してください。